



太鼓の力で、よりよい未来を。

KODŌ

公益財団法人 鼓童文化財団
年次報告・計画書 2018-2019

公益財団法人 鼓童文化財団
理事長 五十嵐 実



皆さまには日頃より鼓童文化財団に、格別のお引き立て、大変ありがとうございます。

元号も変わり、新しい時代が始まりました。一方では、ますます時代の流れが速くなっていると感じます。そのような中、太鼓に対する様々な期待が社会に広がっています。

鼓童文化財団のこれからの大きな目標は「太鼓の力を社会の力へ」です。太鼓には大きな可能性があります。太鼓は昔から人々を勇気づけたり、生きる意欲を与えたり、体力をつけたり、チームワークを醸成したり、身体のバランスを鍛えたりする力を持っていました。様々な効果を取り入れて、本財団では健康増進・介護予防プログラム「エクサドン」を開発しています。そして、多くの方々との協働の中で、効果が実証されつつあります。

太鼓を、聞く楽しみからさらに太鼓を打つ楽しみへ。その様な流れが感じられます！

他にも企業のメンタルヘルス改善やチームビルディング、組織の活性化などにもご要望頂いております。さらには、教育分野での導入、地域活性化への活用などその分野も広がっています。本財団はこれらのご要望を受けまして、積極的に太鼓の活用を推進して行きたいと思っています。

今後におきましても、益々、皆さまのご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

五十嵐 実 (いからしみのる) プロフィール

税理士、日本自然環境専門学校 学校長、障がい者就労施設「あおぞら」副理事、(一社)五頭自然学校 理事長、新潟 NPO 協会 理事。
人間の能力を引き出し、社会をより良く変革していきたいとの思いから、新潟日報メディアシップ、NHK文化センター等で「マインドフルネス」の指導・普及に取り組む。



実証研究 (太鼓体験)



実証研究 (調査票の記入)



2018年9月に行ったエクサドン研究会



「ポジティブティの上がる食事」をテーマに、小木産レモンを使った鍋を試作

活動トピックス2018 「エクサドン」

文化庁の「平成30年度戦略的芸術文化創造推進事業」の委託を受け、エクサドン研究会の開催、実証研究等を行いました。

(1) エクサドン研究会

2017年から行っている「研究会」を、2018年度は2回開催しました。

9月にはドラムサークルのファシリテーターや、作業療法士などの専門家に参加いただき、違う分野から太鼓に関心を持たれている方々と一緒に、違う視点での勉強にもなったと思います。また、実証研究に協力いただく小林先生にも参加いただきました。

10月は外国の方を迎えて行いました。実際に海外で音楽療法をやられたり、理学療法士としてパーキンソン病や、ダウン症の方々に対して太鼓を活用することをやられている方だったり、コミュニティ・ビルディングという、地域社会の中での太鼓の活動をされている方々にも来ていただいて研究を一緒にできました。

今後の国際的な研究や、プログラムの共同開発につながって行く道すがらますます広がったという手応えを感じています。

(菅野敦司/鼓童文化財団 専務理事)

(2) 実証研究

エクサドンのプログラムを共同で開発いただいている佐渡・汐彩クリニック院長の森本芳典氏が、かねてより関心をもたれていた「日本ポジティブサイコロジイ学会」で理事を務める千葉大学の小林正弥氏にご協力をいただきました。

今回は体力面、心理面、認知機能面の調査を行いました。実証研究をやるにあたって、京都大学の大学院医学研究科の人間健康科学系専攻の研究グループが、2016年に太鼓を使った高齢者の女性に対する抗うつ、認知症機能面についての効果測定を行った実証実験の先行事例がありました。そこでは抗うつ的なことや体力面、また認知機能面での明らかな改善というものはあまり見られませんでした。その結果も踏まえて研究を行っていただきました。

そして、本研究の今回の最大の発見としては、「ウェルビーイング」という、「よく生きる」、「ポジティブに生きる」という感情面において、高齢者と一般人の双方が統計的に顕著な上昇を示したことであります。

(菅野)

小林正弥氏 プロフィール



1963年生まれ。東京大学法学部卒業。2010年より千葉大学大学院社会科学部教授。千葉大学公共研究センター長。1995～97年、ケンブリッジ大学客員研究員。

専門は政治哲学、公共哲学、比較政治。慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特別招聘教授兼任。2010年に放送されたNHK教育テレビ「ハーバード白熱教室」では解説を務め、最近ではポジティブ心理学の研究にも取り組む。日本ポジティブサイコロジイ学会理事。

「エクサドンの効果についての実験報告－身体機能・認知機能・抑うつ・ポジティブな心理に関して」(小林正弥氏)より一部引用

方法

エクサドンでは、基本的には、熟達したファシリテーターが音頭を取って、リラックスした雰囲気の中で参加者に太鼓を叩いてもらい、初心者でも楽しく行えるように工夫されている。

本調査では佐渡島に協力いただき、このプログラムを2018年9月末から10月末の一ヶ月に5回それぞれ独立に毎週1回行ってもらった。

A群：介護施設・老人ホームに居住しない通所している高齢者
B群：一般人(たたら館の方に通ってこられる比較的元気な高齢者など)
C群：エクサドンの体験をしない対照群
(人数：A群14人、B群が22人、C群は通所している高齢者12人+一般人16人)

実質的なエクササイズの体験時間は、毎回の状況や参加者の慣れ、調査票記入時間によって異なるが、A群が40分から1時間、B群が1時間から1時間20分程度だった。身体的には体力・バイタル測定を行い、心理的には抑うつ状態や認知症の症状を調査した。それに加えて、本研究ではポジティブ心理学の成果を活かして幸福をはじめとするポジティブな心理(ウェルビーイング)に関してもいくつかの調査票を用いて測定を行った。

ポジティブな心理に関しては、PERMAプロフィール(調査)票を用いて調べた。これはポジティブ心理学の創始者マーティン・セリグマンが提起した「ウェルビーイング理論」をもとに開発されたもので「パーマ」と呼ばれ、以下の5次元の要素の測定を目的としている。

P = ポジティブ感情 (Positive Emotion) M = 意義 (Meaning)
E = 没入 (Engagement) A = 達成 (Achievement)
R = 人 (Relationship)

今後の展望

実験群における事後の調査は最後のエクササイズの後、主として1週間くらいで行われているので、介入の効果が長期的に続くかどうかは検証が必要である。

本研究は熟達したファシリテーターによるエクササイズの効果を検証しているから、和太鼓エクササイズ一般に同様の効果があるかどうかは改めて確認する必要がある。エクサドンというプログラムの特性とファシリテーターの個性や能力によって高い効果が現れている可能性があるからである。

和太鼓のエクササイズがこのような効果を持つということは、ある意味では文化的伝統とも整合的である。和太鼓のエクササイズが心理的にポジティブな心理の増大という機能を持つのは、伝統的な文化からしても首肯できるように思われる。

エクサドンの今後 (菅野敦司)

太鼓には人をつなげる力がある、人を元気にするという事は、これまでも自分たちも感じ、言ってきたことです。バラバラになってしまっている現代の人たちをつなげるという意味で、企業の研修やチームビルディングに有効である、太鼓にはそういう力があるということが、科学的にも立証されつつあります。

2019年度はさらに実証研究とプログラム開発を深め、エクサドンの効果検証と普及を進める一年にできればと思います。

実証研究と人材の育成

さらに実験の協力者の人数を増やしていきたいと考えています。2019年度は、軽度認知症(MCI)の方々をたくさん治療しているところでエクサドンを取り入れていただくことも始まっています。そこからまた共同研究が広がるのではないかと期待しております。また、小林先生が書かれているように、熟達したファシリテーターを養成して行く必要性があります。ファシリテーターはどういう素養を持っているべき人なのか、どういった人がファシリテーターとしてふさわしいのかということも、具体的にしていく必要があります。

ホームページの充実

日本語版の内容が英語版になっていくということが始まって、あとはエクサドンというものが国内外の方に「エクサドンとはなんぞや」ということが一目瞭然になるような、簡単にわかってもらえるような映像を作っているところです。エクサドンが進展している様子をタイムリーに発信でき、エクサドンというものが目指していることに関心を持っていただけるような内容のものを作りたいと考えています。

「エクサドン (EXADON)」ホームページ
<https://www.exadon.com/>

「エクサドン」は「エクササイズ(運動)」+「佐渡」+「ドン(太鼓の音)」を合わせた造語で、鼓童文化財団と森本芳典氏の共同登録商標です。

活動トピックス

鼓童文化財団設立21年目を迎え、新たな気持ちでスタートを切りました。「アース・セレブレーション」をはじめ様々な活動で、地元・佐渡市との協働を進めました。また、深浦学舎などを活用した「鼓童の会会員」の皆様との交流も定着してまいりました。

佐渡市との協働

佐渡の地域課題解決に向け、官民一体となった協働を進めてまいりました。

1. 観光を活用した地域づくり

2018年4月に設立した新たな観光地域づくり組織「(一社)佐渡観光交流機構」との協働事業として、「佐渡・にいがた観光圏」事業を通し、佐渡各地の地域に入り込んだ「鬼が舞う、祭礼の島へ」ツアーの開発を行いました。また、佐渡市委託事業「外国人誘客のための現地プロモーション業務」の一環として、鼓童北米ツアーでの佐渡PRや、佐渡祭ワールドツアー実行委員会の事務局としてニューヨークでの鬼太鼓披露を行いました。

2. 文化を活用した地域づくり

2018年7月に設立された(一財)佐渡文化財団の理事として参画。佐渡の芸能・建築・工芸の3分野についての協議を行いました。

3. 地域に根ざした地域づくり

近年増えているクルーズ船受け入れにあたり、佐渡市や小木町商工会の皆様らとともに小木町での滞在時間をいかに延ばすかの協議や、ECを通じた商人の町おぎ扇の市とのタイアップ事業など進めてきました。



鼓童北米ツアー
鼓童グッズブースにて
佐渡PR



商人の町おぎ扇の市
in アース・セレブレーション

さどの島
銀河芸術祭2018
岩谷ロピアアート



EC2018
「岩首」棚田里山散策

響く島。SADOプロジェクト

文化庁「平成30年度国際芸術文化発信拠点形成事業」に採択されたアース・セレブレーション2018において、島をあげての魅力ある取り組みにするため、「響く島。SADO」プロジェクトを立ち上げ、各イベントとの連動を強化しました。

「さどの島銀河芸術祭2018」を中心とし、EC期間前後においても佐渡を楽しんでいただけるような取り組みを行い、4月～10月のプロジェクト期間中、EC含めて述べ約65,000人のお客様に佐渡にお越しいただきました。

セミナー&ミニワークショップ開催

「太鼓の力を社会に活かす」取組の一つとして、太鼓が組織の活性化やチームビルディングなど、企業の幹部研修にどう効用があるのか、今までの実績を紹介するとともに、研修内容をぐっと圧縮した、セミナー&ミニワークショップ「太鼓の力を組織の力に」を企画しました。講師は五十嵐理事長と太鼓体験講師のよねちゃんこと米谷友宏。企業の経営者や医療関係、また人材育成に携わっている方々など、当日は30名ほどの方々にお集まりいただきました。



12月23日 文京シビックセンター26階スカイホール
(東京・文京区)にて

決算

I 資産の部		
流動資産	現金および預金	6,852,156
	売掛金	13,125
	未収金	10,625,444
	仮払金	877,030
	その他	41,666,109
	流動資産合計	60,033,864
固定資産	基本財産	98,546,042
	特定資産	85,040,470
	その他固定資産	20,161,599
	固定資産合計	203,748,111
資産合計		263,781,975
II 負債の部		
流動負債	短期借入金	51,000,000
	未払金	14,435,567
	未払消費税等	1,614,900
	その他	0
	流動負債合計	67,050,467
固定負債	長期借入金	16,432,000
負債合計		83,482,467
III 正味財産の部		
正味財産合計		180,299,508
負債及び正味財産合計		263,781,975

I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益	1. 基本財産運用益	911,470
	2. 事業収益	90,994,981
	3. 受取補助金等	11,866,530
	4. 鼓童の会収入	6,571,000
	5. 受取寄付金	17,672,366
	6. 雑収益	5,525,832
	経常収益計	133,542,179
(2) 経常費用	1. 事業費	101,911,891
	2. 管理費	35,846,368
	経常費用計	137,758,259
一般正味財産増減額		-4,216,080
一般正味財産期首残高		99,475,118
一般正味財産期末残高		95,259,038
II 指定正味財産増減の部		
指定正味財産期首残高		0
指定正味財産期末残高		85,040,470
III 正味財産期末残高		
正味財産期末残高		180,299,508

ご支援いただいた皆様

昨年も多くの皆様から、様々なご支援をいただきました。ありがとうございます。深く感謝申し上げますとともに、掲載のご希望をいただいた方のお名前をご紹介します。(敬称略)

■ご寄付(2018年1月1日～12月31日) 総額 17,672,366円

- 一般寄付(計14,557,000円)
10000口 堀口智顕/25口 鼓童ウェブログ修学旅行/15口 杉本浄/
10口 荒井久夫、岡山紘、佐藤貞茂、竹内博之、安藤卓也、村丸一雄、佐々木裕/10口未済及び匿名の方の合計 4,462,000円
- 研修生育成支援(計538,000円)
30口 日下敏啓/10口 中谷大介/10口未済及び匿名の方の合計 498,000円
- 寄付(永年賛助会)(計2,100,000円)
伊庭文子、永井久仁子、酒井清孝、増田茂己ほか
- ふるさと納税(計131,000円)
- きしゃぼん(古本募金)寄付22名(計234,842円)
- やまいもくん募金(たたこ館の原木太鼓の革張替えへのご支援)(計111,524円)

■インカインド(物によるご支援)(2017年4月1日～2018年3月31日) 第1面/レコード・CD・書籍・DVD・カセットテープなど(今枝一夫)

■会員の皆様

- 「鼓童の会」(2018年1月1日～12月31日)
2018年度に会費を受領した方 1,028名 / 会費受領総額 6,571,000円
特別支援会(年会費10万円) 北島京子、松井秀樹ほか4名 / 支援会(年会費5万円) 松村美代ほか5名 /
後援会(年会費1万円・入会金1,000円) 257名 / 友の会(年会費3,000円・入会金1,000円) 759名 / 永年賛助会(賛助会からの移行)7名

※上記のほかに、(株)北前船が管轄する賛助会(定員350名/賛助会費30万円)の会員情報を管理。

活動トピックス

「太鼓の力を社会の力に」を合言葉に、エクサドンを本格的に事業化する大切な年にしたいと考えています。そのための人材育成を鼓童内外で進めてまいります。
また、佐渡島内においては、外国人観光客(インバウンド)の受け皿づくり、佐渡ならではの体験プログラムの開発を、島内の各種団体と協働で進め、財団のミッションである文化振興と地域活性化に取り組んでまいります。



食品研究開発・製造販売などを行っている株式会社タケショー様(本社 新潟市)の研修での太鼓ワークショップ

企業向け研修プログラムの開発

2014年から行ってきたコーネル大学経営大学院との協働企画「未来の学校」での経験や実績をもとに、太鼓ワークショップを企業研修に取り入れられないかという依頼が徐々に増えてきました。太鼓ワークショップを通して、「コミュニケーション」「チームワーク」「リーダーシップ」などを体感として学ぶ企業向け研修プログラムの開発を更に深め、「太鼓の力を組織の力に」活かす取り組みを進めてまいります。

訪日外国人観光客(インバウンド)の受け入れとプロモーション活動

- 1つ目は、アース・セレブレーションが、2020年東京オリンピック・パラリンピックの気運醸成やインバウンドの拡大等を目的に、文化プログラムの中核として実施される「日本博」の共催事業となり、海外からの参加者への情報発信、受け入れ体制の強化を図ります。
- 2つ目は、地元の小木港の着岸バースが改修工事され、今年から2万5,000トン級の船舶の着岸が可能となり増加が期待されることから、クルーズ船の乗船客の受け入れです。
- 3つ目は、鼓童の海外公演と連動した、ロビーでの佐渡観光プロモーションと佐渡の鬼太鼓を海外で紹介する「佐渡祭ワールドツアー」とのタイアップです。今年、北米ツアーと連動させて実施しました。鼓童の島外での公演活動と島内での受け入れを連動させた、新たな巡りを生み出してまいります。



佐渡島民によるクルーズ船の見送り



佐渡祭ワールドツアー2019 in ニューヨーク

研修生の募集、教育機関との連携など

鼓童の研修生やメンバーは、現在ではそのほとんどが高校や大学の和太鼓部で活動していた経験をもっています。鼓童では「全国総合文化祭・郷土芸能部門」を継続的に協賛させていただいているほか、今年は鼓童メンバーが学校に直接伺って指導させていただくなど、関係を深める取り組みを行ってまいります。
また、2020年度の研修生受け入れについては、募集期間や面接の実施時期の見直しなど、応募しやすい環境作りの試みを行う予定です。



大阪府立久米田高校太鼓部を訪問(船橋裕一郎・宮崎正美)

事業計画

- 重点分野**
- ・ 佐渡地域振興策との連携推進
 - ・ 「エクサドン」プログラムの開発普及
 - ・ インバウンド(外国人観光客)の受け皿づくり

実施事業

ア. 人づくり(研修および体験学習を通じた担い手の育成)

- ① 「太鼓芸能集団 鼓童メンバー養成」コース
 - ・ 一年次 4月～2020年1月 9名
 - ・ 二年次 2月～2020年1月 7名
- ② 「エクサドン」講師、ファシリテーター養成
 - ・ 9月 エクサドン研究会の開催
 - ・ 佐渡島外でのエクサドン「体験」と「講座」の開催
- ③ 「深浦学舎」の運営
 - ・ 企業研修をはじめとする研修プログラムの開催
 - ・ 太鼓合宿などをはじめとする宿泊受入

イ. 地域おこし(地域資源を利用した地域活性化)

- ① 佐渡太鼓体験交流館(たたこ館)の運営
 - ・ 修学旅行太鼓体験
 - ・ 深浦学舎と連動した体験プログラム
 - ・ 島外での出前ワークショップ開催
 - ・ 「エクサドン」プログラムの開発
 - ・ イベント時等の臨時飲食店営業の試行
 - ・ ヘルスツーリズムのプログラム開発
- ② 「鼓童 佐渡宿根木公演」を中心とした宿根木地区との連携
 - ・ 開催期間: 4月27日(土)～5月5日(日・祝)
- ③ 佐渡の地域振興に資する各種団体の事務局運営や活動のサポートおよび中間支援
 - ・ 佐渡観光交流機構
 - ・ 佐渡文化財団
 - ・ 深浦小学校校舎活用委員会
 - ・ 小木湊まちなみの輪
 - ・ 佐渡市キャリア教育ネットワークミーティング
 - ・ 佐渡国しま海道
 - ・ クルーズ船歓迎対策会議
 - ・ 地域ESD活動推進拠点
 - ・ トキめき佐渡・にいがた観光圏
 - ・ 佐渡祭ワールドツアー実行委員会
- ④ 外国人誘客のための現地プロモーション業務
 - ・ 佐渡市より「ビジット佐渡アンバサダー(ビジット佐渡観光大使)」任命
 - ・ 鼓童北米ツアー会場ロビーにおいて、外国人誘客のための佐渡観光PR
- ⑤ アースファニチャー事業
 - ・ 「緑の少年団」によるベンチの製作

ウ. 芸術文化の振興(伝統文化の調査研究を通じた芸術文化の振興)

- ① 佐渡の文化に関する調査研究及び資料収集
 - ・ 深浦学舎に佐渡に関わる図書資料等の閲覧コーナーを設置
- ② 伝統文化・文化活動への支援
 - ・ 一般財団法人佐渡文化財団との事業連携
 - ・ 鼓童メンバーに対する、芸能講座、現地訪問の支援
 - ・ 佐渡の集落で継承されている芸能の支援
- ③ アウトリーチ活動
 - ・ 鼓童塾
 - ・ 「芸能の宝島佐渡」公演
 - ・ 研修生と島内中学生の交流学校公演
- ④ エクサドン〈文化庁「戦略的芸術創造推進 事業(共生社会実現のための芸術文化活動の推進)」事業〉
 - ・ 医療関係者・研究者との協働によるエクサドンの実証検証の実施

エ. 国際交流(国際的な文化交流の場づくりと実践)

- ① 国際芸術祭「アース・セレブレーション(EC)」の実施・運営
 - ・ 開催期間: 2019年8月16日(金)～18日(日)
 - ・ 「響く島。SADO」プロジェクトとの協働
 - ・ 「おぎ扇の市」との協働
 - ・ 英語メディアでの情報発信の拡充
- ② 太鼓合宿の受入
 - ・ 太鼓をテーマとした高校生を対象とした国際交流プログラム「Taiko for Peace」を受入
- ③ 外国クルーズ船の受入(計11隻)
 - ・ 鼓童公演や太鼓体験ワークショップの開催、宿根木地域の散策アレンジなど

オ. 広報・ファンドレイジング(広報活動・資金調達の強化)

- ① 機関誌(年4回)の発行
- ② ウェブサイトの充実
- ③ 企業との関係強化により法人寄付の強化
- ④ 寄付のオンライン決済システムの定着化
- ⑤ クラウドファンディング等の資金調達手法の活用
- ⑥ 「鼓童の会」の運営

鼓童文化財団の活動は、皆様のご支援により支えられています。

鼓童文化財団への寄付や鼓童の会の会費は、特定公益増進法人への支援金として、税金優遇措置の対象となります。趣旨にご賛同くださった皆様からの、格別のご支援をお願い申し上げます。

ご支援の方法

1. 「鼓童の会」へのご入会

「鼓童の会」は、鼓童の活動に共感する皆様と鼓童をつなぎ、その活動を幅広くご支援いただく会です。ご入会いただきますと、鼓童の最新情報をお届けするほか、公演の先行予約などの特典を、会費額によりご提供いたします。会費のご入金は「鼓童チケット予約サイト」よりクレジット決済・コンビニ支払いでの手続きが可能なほか、郵便振替口座【00680-2-13115 鼓童の会】への払込みもお受けしています。ぜひご利用ください。



2. ご寄付

① 一般寄付

1口1,000円より何口でも随時お受けいたしております。年に1万円(10口)以上ご寄付いただいた方はご希望により、鼓童文化財団の年次報告書(本誌)にご名義と金額を掲載させていただきます。

○郵便振替

郵便局備付けの払込用紙をご利用の上、下記の郵便振替口座にご送金ください。

[00690-9-25829 (財)鼓童文化財団]

通信欄に、お名前、ご住所、名義掲載のご希望の有無(10口以上の方)をご記入ください。

○クレジットカード

鼓童公式サイトの「寄付申込フォーム」からお手続きください。

http://www.kodo.or.jp/total_support

② 研修生育成支援

研修所の運営には年間約3,000万円の費用がかかり、また築60年を越えて老朽化した建物の補修もこれから益々必要となって参ります。鼓童の次代を担う研修生の育成にお力添えいただければ幸いです。

○ご寄付

1口1,000円より何口でも随時お受けいたしております。お申し込み方法は一般寄付と同様ですが、備考欄に「研修生育成支援」とご明記ください。

○インカインド(物による支援)

2016~2018年の3年間に、調理器具、園芸用品、お米、ミシン、着物、帯、タンス、果物、楽器など様々な物によるご支援をいただきました。このようなご協力をいただける方は、ぜひ鼓童文化財団事務局までご連絡いただけますようお願いいたします。

○鼓童×きしゃぼん「どんどこ古本募金プロジェクト」

鼓童文化財団は「古本募金きしゃぼん」の協働パートナーです。「きしゃぼん」は、ご自宅に眠っている本・DVDなどをリサイクル換金し、指定の団体(協働パートナー)に寄付するしくみです。当プロジェクトを通じていただくご寄付は、研修生の支援に使わせていただきます。皆様のご協力によりいただいたご寄付は2015年からの約4年間で50万円を超え、研修生の稽古用のパチ材を400組以上購入することができました。(角材1組1,300円として)

詳しくは、古本募金きしゃぼん (Tel.0120-29-7000、<http://kishapon.com/kodo/>)

または鼓童文化財団事務局までお問い合わせください。



③ やまいもくん募金

原木太鼓「やまいもくん」と「ぶたばなちゃん」は、2001年からおよそ5年間の月日をかけて、見留知弘を中心とした鼓童メンバーによる「手作り太鼓プロジェクト」から生まれた太鼓です。2006年にメンバーが石川県の浅野太鼓楽器店様へ伺い、鉦打ちをして仕上げました。

2007年のたたこ館の開館以来お客様に親しまれてきた「やまいもくん」でしたが、革が破れてしまい、2017年に張替えを行いました。

たたこ館に募金箱を設置しております。ご協力いただいた方には、原木太鼓にちなんだ記念グッズを差し上げております。

「鼓童文化財団」役員・評議員

理事長	五十嵐実	税理士、日本自然環境専門学校長
専務理事	菅野敦司	
理事	松田祐樹	NPO法人佐渡芸能伝承機構 理事長
理事(新任)	佐藤敦子	高崎経済大学 准教授
理事(新任)	船橋裕一郎	太鼓芸能集団「鼓童」代表
監事	河内秀夫	税理士
監事	佐藤一行	(株)北前船 社外取締役 / (有)音大工 監査役
評議員	青木孝夫	(株)北前船 代表取締役社長
評議員	浅野昭利	(財)浅野太鼓文化研究所 理事長
評議員	関原剛	協同組合ウッドワーク 顧問
評議員	堀口智顕	サンフロンティア不動産株式会社 代表取締役社長
特別顧問	島崎信	武蔵野美術大学名誉教授
顧問	高野宏一郎	元佐渡市長

鼓童グループの活動理念

私たちは、太鼓とともに世界をめぐり、
多様な文化や生き方が響き合う「ひとつの地球」をめざします。

鼓童グループは、以下の4つの組織に分かれて運営いたしております。

- 太鼓芸能集団「鼓童」
太鼓を中心とした音楽芸能の創造、実演、教育などの活動を行います。
- 株式会社 北前船
太鼓芸能集団「鼓童」のマネジメント、公演等の企画、興行、鼓童商品の開発販売を行います。
- 有限会社 音大工
太鼓芸能集団「鼓童」および鼓童グループの著作権管理、映像音源メディアの企画制作を行います。
- 公益財団法人 鼓童文化財団
太鼓芸能集団「鼓童」が培った経験と佐渡の資源を活かし、広く社会に貢献できる活動を行います。